

サイバーセキュリティに関する総務大臣奨励賞

1 個人：2名

(敬称略)

氏名	功績の概要
<p>かわぐち ひろし 川口 洋</p> <p>株式会社川口設計 代表取締役</p>	<p>ゲーム感覚でサイバー攻撃に対処する能力を磨く「Micro Hardening」という人材育成手法を開発・提供し、企業におけるインシデント対応能力の向上に務めているほか、国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）が提供する実践的サイバー防御演習「CYDER」の推進委員やサイバー演習「サイバーコロッセオ」の講師を務めるなど、我が国におけるセキュリティ人材育成に大きく寄与している。</p> <p>また、全国各地のセキュリティ関係セミナーで講演を行うなど、サイバーセキュリティに関する周知啓発にも広く貢献している。</p>
<p>のぼり だいゆう 登 大遊</p> <p>独立行政法人 情報処理推進機構（IPA） サイバー技術研究室長</p>	<p>遠隔地にある複数の LAN をつないで1つのVPNを構築できるソフトウェア「SoftEther VPN」を開発し、現在、世界中で500万以上のユーザが利用する独創性豊かなセキュリティ技術を世に生み出した。</p> <p>また、緊急的に簡単に利用できる「シン・テレワークシステム」の開発を主導した。更に、同システムの技術を元にした「自治体テレワークシステム for LGWAN」の開発にも参画し、このシステムは、現在、460団体以上が運用するなど、地方公共団体の先進的なテレワーク環境の整備とサイバーセキュリティの向上に大きく貢献している。</p>

2 団体：1団体

(敬称略)

団体名	功績の概要
<p>とっとりけんじちたい 鳥取県自治体ICT きょうどうかすいしんきょうぎかい 共同化推進協議会 (代表：平井 伸治 会長)</p>	<p>鳥取県では、県内インシデントに対しいち早く初動を行えるよう、県CSIRT及び県内市町村CSIRTの設置を推進するとともに、両CSIRTの連携体制を構築した。本協議会では、県から市町村へのCSIRT設置要綱に関する情報提供や研修等を通じ、実効性のあるCSIRT運営を支援している。</p> <p>また、県内で発生したインシデントについて、積極的な情報共有による再発防止を進めるなど、風通しのよいCSIRTの連携体制の発展に努めている。</p>